

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	文言の中に、地域密着型の視点を取り入れた理念が掲げられていない。	地域密着型の視点を取り入れた理念を掲げ、管理者、職員が、事業所の社会的役割を自覚し、積極的に地域との関わりを持つ。	管理者、職員が地域密着型の視点に立った理念を考え、それを共有し、地域の行事に参加するなど地域に寄り添ったケアに取り組む。	12ヶ月
2	2	地域との関わりが不足している。	回覧板等から地域の行事の情報を入手し、参加可能なものには、積極的に参加する。また、近隣の住民に、当事業所の行事に参加していただく。	地域のお祭り、幼稚園や小学校の運動会等当事者に相談し、積極的に参加する。近隣の住民の方に、当事業所の避難訓練やお祭りに参加していただく。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の委員構成員に地域住民の代表者が参加していない。	地域住民の代表者(区長)等に依頼し、運営推進会議に参加していただくことで、地域と利用者の繋がり、交流を活発にする。	地域の代表の方から意見をいただいたり、地域の避難訓練や行事に参加させて頂いたりして交流を持つ。	12ヶ月
4	8	全家族に対して成年後見制度についての説明が十分できていない。	職員全員が内部研修で得た知識をもとに機会あるごとにご家族に成年後見制度について説明する。	契約時のほか、面会時に成年後見制度について説明したり、季節ごとの苑だよりに情報として載せる。	12ヶ月
5	37	避難訓練に地域住民の参加がない。非常用の食料、飲料水、備品等同一敷地内の同一法人内でのストックは、確保されているが、単独ではない。	避難訓練に地域住民の方に参加していただく。非常用の食料、飲料水、備品等を単独で確保する。	近隣の住民の方にお声掛けし、避難訓練に参加していただく。法人の代表者の許可を得て、単独で非常用食料、飲料水等をストックする。	12ヶ月
6	47	一人ひとりの生活習慣や希望に合わせて、いつでも入浴できると体制が整っていない。	入浴時間を利用者の希望に沿うようにする。	法人の代表に相談し、いつでも入浴が可能な体制(設備、人員配置等)を整える。	12ヶ月